



報道関係各位

GE ヘルスケア・ジャパン 循環器領域の開業医向けに最適な心エコー装置「Vivid T8」を発売

～Vivid シリーズのハイエンド機能をコンパクトに集約～

医療課題の解決に取り組むヘルスケアカンパニー、GE ヘルスケア・ジャパン株式会社(本社:東京都日野市、代表取締役社長兼 CEO:川上潤)は、このたび、汎用超音波診断装置 Vivid シリーズの最新機種「Vivid T8(ヴィヴィッド・ティーエイト)」の発売を開始しました。Vivid T8は、循環器領域向けVividシリーズの先進機能と性能をクリニック向けに小型軽量化した循環器領域の開業医向けの心エコーです。

高齢化の進展に伴い、近年増加の一途をたどる心疾患や、高血圧、糖尿病などの慢性疾患の増加を背景に、心臓用超音波診断装置に対するニーズは急速に伸びています。一方、超高齢社会における地域に密着した診療の重要性が増し、2025 年モデルに向けて、「かかりつけ医」としてのクリニックの果たす役割がますます重要となる中、超音波診断装置を今まで以上に活用する必要があると考えられます。

当社の超音波診断装置は、汎用向けの「LOGIQ(ロジック)」、循環器向けの「Vivid(ヴィヴィッド)」、そして産婦人科向けの「Voluson(ボルソン)」と 3 ブランド体制を採用しており、全ブランドにおいて、エントリーモデルから高性能機種まで幅広い製品を提供し、臨床や研究など多岐にわたるニーズに対応しています。循環器用超音波診断装置 Vivid シリーズは、上位機種「Vivid E9」から、「Vivid S6/S5」、可搬型ノートブックタイプの「Vivid i/q」など、循環器領域における医療機関のニーズにきめ細かに対応可能な幅広いラインアップを揃えています。今回発売する Vivid T8は、Vivid シリーズの心エコーとしての優れた性能をコンパクトな形状に集約しつつ、より簡単な操作性、さらに血管・腹部領域の強化を実現しました。また、RAW データのテクノロジーにより、病診連携における連携先の基幹病院とのデータ共有による検査時間や回数の削減を実現し、疾病の早期発見はもとより、患者さんの負担軽減や医療費削減に貢献することが期待できます。

■Vivid T8 の主な特長

・Vivid シリーズの卓越の機能と性能をクリニック用にコンパクトに集約

Vivid T8 は、大学病院や基幹病院の心臓血管向けハイエンド装置の基本性能をクリニック向けに小型軽量化した本体に移植することで、高い基本性能を持つ循環器領域の開業医向けに最適な超音波診断装置です。従来の超音波診断装置では両立できなかった大きさや価格と基本性能との両立が計られています。

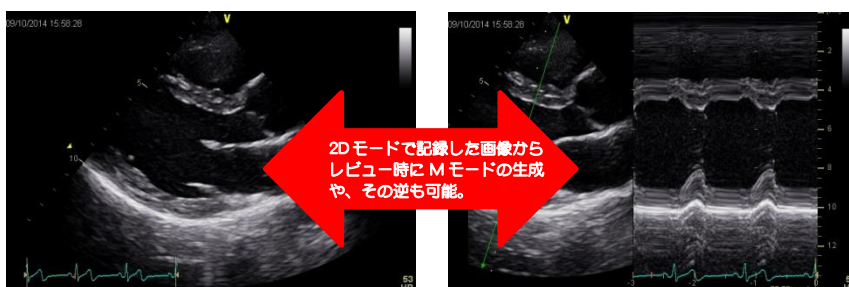


・直観的な操作を可能にしたタッチスクリーン・インターフェース

ハイエンド装置に搭載される直観的な操作を可能にしたタッチパネルによって、超音波検査だけに終日従事できない開業医でもストレスなく検査を実施できるようになります。

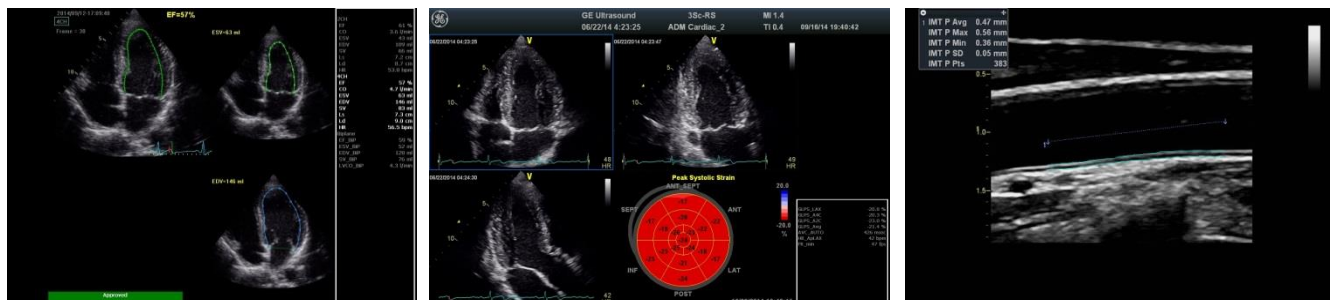
・検査の後でも再計測、再解析が可能な RAW データで保管。スムーズな病診連携をサポート。

Vividシリーズの特徴である検査後も画像再調整や計測解析が可能な RAW データで保管されるため、連携先の基幹病院ともデータの共有が可能になります。従来の装置では、計測解析まで完了しなければ全てのデータを保存できず、クリニックで患者さんを長時間拘束することが必要でしたが、連携先の基幹病院と RAW データを共有することでその必要がなくなります。



・効率化とより精度の高い診断をサポートする多彩な自動調整機能が搭載。

左室駆出率をポイント指定するだけで自動計測が簡単に行うことができる Auto EF (オートメイトド・イジェクション・フラクション) が標準機能として搭載されているほか、左室全体および局所壁運動評価を支援する AFI (オートメイトド・ファンクション・イメージング) では、心尖アプローチの 3 断面を定量的に解析。IMT (中内膜複合体) を自動で検出を行う自動 IMT 計測など先進的な自動化ツールがオプションで搭載できます。



Auto EF

自動 IMT 計測

AFI (Automated Function Imaging)

製品名: Vivid T8

薬事認証名称: 汎用超音波診断装置 Vivid T8

発売日: 2014 年 10 月 1 日 (水)

初年度国内発売目標: 150 台

医療機器認証番号: 226ABBZX0081000

その他、本資料に記載された装置の製品名/薬事認証名称/医療機器認証番号は以下の通り

製品名	薬事認証名称	医療機器認証番号
Vivid E9	汎用超音波診断装置 Vivid E9	220ABBZX00253000
Vivid S6/S5	汎用超音波診断装置 Vivid S6 *Vivid S5 は汎用超音波診断装置 Vivid S6 の類型です	220ABBZX00015000
Vivid i/q	汎用超音波診断装置 Vivid i *Vivid q は、汎用超音波診断装置 Vivid i の類型です	21700BZY00064000

GE ヘルスケア・ジャパンについて

GE ヘルスケア・ジャパン株式会社は、世界が直面する困難な課題解決に取り組む GE ヘルスケアの中核拠点の 1 つとして、1982 年に設立されました。国内に開発、製造から販売、サービス部門までを持ち、日本のお客様のニーズにお応えする、先進的な医療技術ならびに医療・研究機関向けの各種サービスをお届けしています。CT や MRI、超音波診断装置などの医療用画像診断から、体内診断薬、細胞解析装置などのライフサイエンス (生命科学) まで幅広い分野にわたる専門性を駆使しながら、GE の世界戦略「ヘルシーマジネーション」で掲げる「医療コストの削減」「医療アクセスの拡大」「医療の質の向上」の実現を目指します。2014 年 1 月 1 日現在の社員数は 2,100 名、国内に本社および 54 カ所の事業拠点。ホームページアドレスは www.gehealthcare.co.jp (ライフサイエンス統括本部: www.gelifesciences.co.jp)。

<お問い合わせ先>

GE ヘルスケア・ジャパン (株) コミュニケーション本部 プランチャード/松井
Tel: 0120-202-021